

頂点目指して、ひたすら練習に打ち込む選手たち。全国の強豪を破るには、そよ風では物足りない。不安や弱気を吹き飛ばす春一番。夢の舞台で「春の嵐」を巻き起こせ、一関勢。



及川日菜 Oikawa Hina

Kikuchi Reina 菊地怜奈



菊地颯・菊地莉柘



千葉彩未・熊谷百華

**昨**年9月に本市で行われた県予選会で、猿沢スポーツ少年団の及川日菜・菊地怜奈(ともに猿沢少)ペアが5年生女子の部で1位、藤沢ジュニアソフトテニスクラブの菊地莉柘・菊地颯(ともに藤沢少)ペアと千葉彩未・熊谷百華(ともに藤沢少)ペアがそれぞれ5年生男子の部、女子の部で3位に入賞した。3組は、3月29日から千葉県で行われる全国大会に出場。それぞれ2回目の全国に挑む。

**及川・菊地**ペアは「予選勝トーナメントに進みたい」、菊地ペアは「昨年より1つでも多く勝ちたい」、千葉・熊谷ペアは「レシーブを強くしてまず1勝したい」と目標を掲げる。

**猿**沢スポーツ少の菊地昭弘監督は「県代表の自覚を持って戦ってほしい」と話し、菊地ペアの母、美智代さんは「互いにいいところを出して頑張ってもらいたい」と期待する。

## 一関ミニバス少年団 Ichinoseki Mini Basketball

**1**月に北上市で行われた「岩手県ミニバスケットボール交歓大会」で優勝した一関ミニバススポーツ少年団。3月に東京都で行われる「全国ミニバスケットボール大会」へ3年ぶり4回目の出場を決めた。これで同団は昨年2月の新人大会、7月の東北ミニバス大会岩手県大会と合わせて3冠を達成。女子部員15人に、全国での活躍が期待されている。

**同**団を率いる佐々木将年監督は「強豪相手でも物おじせず、力をフルに出してほしい」と力を込める。



**主**将の杉内李緒さん(一関小6年)は「自分たちのペースで楽しんでプレーしたい。1試合でも多く勝ち進みたい」と笑顔で話していた。

## 遠藤唯夢

Endo Yuimu 一関卓心クラブ

**3**月24日から鳥取県で開かれる「全国ホープズ選抜卓球大会」に出場する岩手県選手団に、遠藤唯夢君(巖美小6年・一関卓心クラブ)が選出。昨年12月に矢巾町で開かれた選考会で1位となったことから、県選手団5人に選抜された。昨年夏の全日本卓球選手権大会に続き、

2回目の全国大会出場を果たした。遠藤君は「得意のドライブで相手を動かして、まずは1勝したい」と抱負を語る。同クラブを指導している松谷俊男さんと鈴木潤さん(卓球が大好きな唯夢。練習を重ね、初の県王者となった。全国でも活躍してほしい)と願っている。



## 大東中女子卓球部 Daito Junior High School

**1**月8日に奥州市で開催された県予選で初優勝した大東中。昨年夏の中総体、秋の新人戦と合わせて、県大会3冠を達成した。同校は3月26日から山形県で行われる「全国中学選抜卓球大会」に出場する。

**団**体戦で争われた予選会ではリーグ戦決勝トーナメントを通じて、奪われたのはわずか1セット。安定した戦績について主将の及川結さん(2年)は、「フットワークなど基礎練習を重ねてきた成果」と分析。「全国では8強を目指したい」と目標を掲げる。

**予**選リーグ敗退に終わった昨年の全国中総体。その雪辱も果たすため、チームの持ち味である明るい雰囲気練習に打ち込んでいる。



## 巖美中男子卓球部 Genbi Junior High School

**1**月8日に奥州市で開催された県予選で初めて優勝に輝いた巖美中。3月26日から山形県で行われる「全国中学選抜卓球大会」に歩を進める。

**主**将の菅原海翔君(2年)は「チームワークを大切にしてみんなを引っ張ってみたい」と話し、部長の佐藤航平君(2年)は「フットワークを強化したい」と課題の克服を掲げる。全国大会での目標については「1つでも多く勝ち進みたい」と2人で声をそろえた。

**中**総体での「東北4強」入り、そして全国中総体出場を目標にしている巖美中。前哨戦となる選抜大会を前に、練習に熱を入れている。



**1**月に奥州市で行われた県予選会を制し、県王者として「全国高等学校選抜卓球大会」に出場する小笠原就大君(一関二高2年)。同大会は3月25日から28日に大阪市で開かれる。

**全**国では「守りから相手の隙をついて攻撃する自分のスタイルで、多く試合をしたい」と意気込む。顧問の菅原望教諭は「チームのムードメーカー。まず1勝してほしい」と期待を込める。

## 小笠原就大

Ogasawara Yukihiro / 一関二高卓球部